

## 第 2 部

# 太田市の概況



# 第1章 太田市の概況

## (1) 太田市の現況

### 【面積】

総面積 175.54 km<sup>2</sup>

### 【位置】

東経 139°

北緯 36°

### 【人口】 (令和5年3月末)

人口 222,196 人

男 113,615 人

女 108,581 人

世帯数 100,269 世帯



市章

(平成17年6月28日告示)



マスコットキャラクター「おおたん」

## (2) 市の特徴的な環境施策

太田市では全国的にも日照時間が長い特性を活かし、「太陽光発電推進のまちおおた」として、再生可能エネルギーの普及促進を施策として展開しています。

特に大きな事業としては、次のとおりです。

### I) メガソーラー事業

「自分たちが使う電力は自分たちで作ろう」という電力の地産地消の観点から、メガソーラー（大規模太陽光発電所）の建設計画がスタートし、平成24年、25年にかけて3か所のメガソーラーを開始しました。

現在は合計で4,941kWのメガソーラーが稼働しています。

年間発電量（令和4年度）

	単位	おおた太陽光発電所	おおた緑町太陽光発電所	おおた鶴生田町太陽光発電所
年間発電量	kWh	893,028	2,005,934	1,529,972
排出係数	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.447	0.447	0.447
CO2排出削減量	t-CO <sub>2</sub>	399.2	896.6	683.9

※令和4年4月1日から令和5年3月31日までの発電量

## II) パルタウン城西の杜住宅団地

平成14年から平成20年まで、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「集中連携型太陽光発電システム実証研究」がパルタウン城西の杜で行われました。

太陽光発電システムが集中した際のシステム性能や、配電システムへの影響の実践研究と、太陽光発電システムの普及に必要な技術の構築を目的に、分譲777区画中553戸に太陽光発電システムが設置されました。

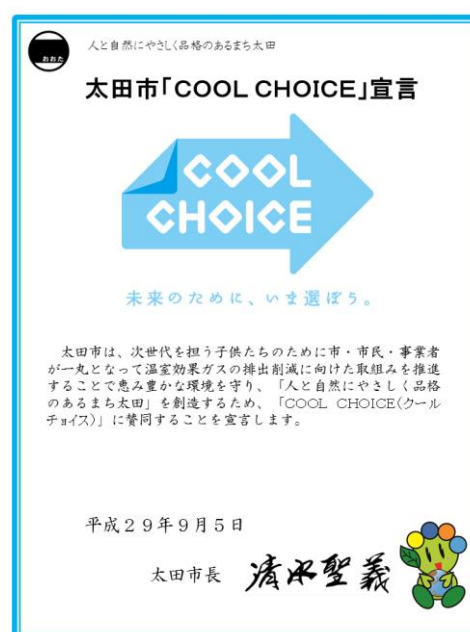
## III) 電気自動車専用急速充電器

平成27年度から太田市役所南庁舎(浜町2-7)及び道の駅おおた(粕川町636-1)に電気自動車専用急速充電器を設置しています。

## IV) 太田市「COOL CHOICE」宣言

太田市では国が推奨する国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、市民や事業者と一丸となって地球温暖化対策に取り組むため、平成29年9月に太田市「COOL CHOICE」宣言を行いました。

「COOL CHOICE」とは、環境省が推進している温室効果ガス削減のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策となるあらゆる「賢い選択」を推進する国民運動です。



## V) 株式会社おおた電力との連携

市内電力会社である株式会社おおた電力と共同で「電力の地産地消」を推進するため、令和元年8月に出資を行いました。株式会社おおた電力が、市内の固定買取価格制度満了者(卒FIT者)と契約し、買取った電力を太田市の公共施設等に供給しています。

VI) 「2050年脱炭素社会の実現に向けて」の表明

I P C C (国連の気候変動に関する政府間パネル) 特別報告書の目標達成に向け、環境大臣から自治体での取り組みの重要性が表明され、本市においてもこれに賛同し2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)を目指す表明を令和2年1月7日の記者会見で行いました。これは、県内市町村では初となるものでした。

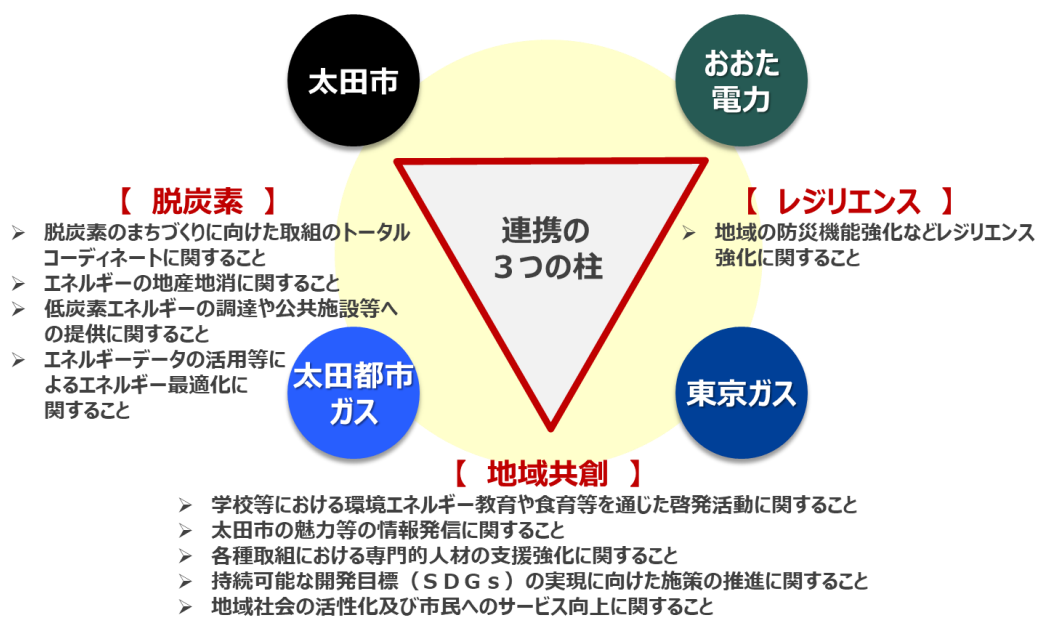
VII) 「エネルギーの地産地消に関する連携協力協定」を締結

太田市、千代田町、大泉町及び邑楽町の一市三町は、相互に連携して協力することにより、脱炭素社会の実現を目指し、エネルギーの地産地消を促進することを目的として、令和4年3月28日に協定を締結しました。

再生可能エネルギーの利用拡大、地域活力産出の促進及びエネルギーの地産地消による一市三町内での経済循環に関して、連携・協力しています。

VIII) 「脱炭素のまちづくりに向けた包括連携協定」を締結

太田市、株式会社おおた電力、太田都市ガス株式会社及び東京ガス株式会社は、相互の連携を強化し、脱炭素社会のまちづくりに向けた包括連携協定を令和4年6月7日に締結しました。この協定に基づき、定期的に協議の場を設け、脱炭素に向けた施策を検討しています。



IX) 「脱炭素社会に向けたスタートアップ支援事業」での取り組み

群馬県が関東地方環境事務所及び関東経済産業局と連携して実施する支援事業により、庁内他課や市内事業者等とワークショップを開催し、令和4年度に本市の目指すべき脱炭素社会の絵姿を作成しました。

### (3) 市のあらまし

平成17年3月28日、太田市、尾島町、新田町及び藪塚本町の一市三町が新設合併して、新「太田市」が誕生し、現在に至っています。本市は群馬県南東部、東京から北西へ約86kmに位置しています。

東側は大泉町・邑楽町・栃木県足利市、西側は伊勢崎市、南側は埼玉県熊谷市・深谷市、北側は桐生市・みどり市に面しています。南は利根川、北は渡良瀬川が流れており、標高239mの金山と、八王子丘陵が北西部を走るほかは、概ね平坦地で、その標高は30mから110mの平坦部となっています。



#### ・利根川

大水上山を水源とする一級河川で、太田市の南側を流れる。流域面積は日本最大である。

#### ・渡良瀬川

利根川水系の一級河川で、太田市の北側を流れる。

#### ・金山

太田市中心にある標高239mの独立峰。日本百名城の一つである金山城跡がある。

#### ・八王子丘陵

太田市北部から桐生市、みどり市に広がる丘陵群で、長さ15km、幅5kmにわたって分布する。